



教育目標 進んで学ぶ子ども 高め合う子ども きたえる子ども

重点目標 ともに きらきら かがやこう ～子ども 地域 教職員 の合い言葉～

向上心を持ち 積極的に学ぶ姿、思いやりをもったかかわり方を集団で創り上げる姿 健康な生活、体力の向上に向け鍛え合う姿が満ちている瑛玖良校を目指し、全校体制で取り組む。

目標達成のための努力事項

学力の向上

- 個別の知識・技能の伸長、基礎学力の定着
 - ・学習過程の共有（猿小 CT 及び新発田市学習スタンダード）
 - ・少人数指導、習熟度別指導、教科担任制の工夫
 - ・Web 配信集計システムの活用及び学年テストの実施
 - ・学習規律の徹底、家庭学習の習慣化
- 自ら考え、判断し、表現する力の育成
 - ・「学び合う」活動の学習過程における位置づけ
 - ・FT を取り入れた学習等、学び合い学習の工夫

かかわる力の育成

- 思いやりをもてる子どもの育成
 - ・道徳教育の充実とかかわる同和教育の実践
 - ・研修会への積極的参加、生きる I II III の活用
- いじめ根絶
 - ・「いじめ防止基本方針」による未然防止、早期発見・対応
 - ・学校間、地域等との連携に基づく指導・支援の展開
 - ・社会性育成を図る「深めよう 絆 県民運動」の推進

健康の増進と体力の向上

- 基礎的な身体能力の育成
 - ・年間指導計画の中核に、「投力」を設定
 - ・基礎的な技能と自ら学び考える力を育成する授業の実施
 - ・学校行事や遊びの中で深めることによる体力向上を図る。
- 健康な生活を営む力の育成
 - ・家庭と連携し、基本的生活習慣の向上を図る。
 - ・「食とみどりの新発田っ子プラン」による食育の推進

主な成果目標

- ・国語、算数の 2 教科について、ワークテストの学級平均点が期待得点以上の単元の割合を 85%以上にする。
- ・重点単元（評価単元）において観点に沿って振り返りを行うことができる児童の割合を、全校児童の 80%以上にする。

- ・学級みんなに親切に優しくしたり、思いやったりしている児童の割合を児童評価 90%以上・職員評価を 70%以上にする。
- ・学校や家庭・地域で、自分から進んであいさつできる児童の割合を児童評価 90%以上、職員評価 70%以上にする。
- ・仲良く協力し合っている児童の割合を児童評価 90%以上、職員評価 70%以上にする。

- ・進んで運動や遊びに取り組む児童の割合を 90%以上とする。
- ・ソフトボール投げの学年男女別平均値が全国平均値を上回る。
- ・好き嫌いをせずに残さず給食を食べている児童の割合を 85%以上にする。
- ・自分で決めたテレビ視聴やゲーム等の時間を守り、規則正しい生活習慣を身に付けている児童の割合を 75%以上にする。

教育効果をあげる地域・保護者との連携

見てもらい ともに活動し 成果（成長の喜び）を共有する
そして新たな未来を語りあう関係

- 地域 …… 地域懇談会、学校評議員、町内会長、民生委員、町内連絡員の連携
 - ・生活科、総合的な学習の時間、地域貢献活動の実施
 - ・授業参観や個別懇談、スキー授業、引き渡し訓練、学校行事の充実
- 情報発信…学校だより、ホームページ、各種たより、携帯メールの配信

子どもの命と人権を守る安全安心な環境

- 外部機関… 児童相談所、こども課、児童クラブ、猿橋中学校区（猿橋中・住吉小）、警察署、消防署、西園すこやか園、県立教育センター、人権擁護委員協議会
- 地域…セーフティースタッフ、すこやかパトロール、PTA 主催の街頭指導
- 学校…掲示物、清掃活動、教材教具の充実、施設の整備